

新年会(1月23日)で聴こう! 新春の調べ

前田由美子さんらの箏の四重奏



関東同窓会は1月23日(木)に東京都千代田区一ツ橋の日本教育会館で恒例の新年会を開催します。今年のイベントは生田流大師範の前田由美子さん(57期)に東京芸大卒の若手女性箏曲家3人を加えた箏の四重奏です。多数の皆さまの参加をお待ちしています。

前田さんは6歳の時から箏を習い始めました。高校2年生の時に諏訪清陵高校から上田高校に転校し、2年生の終わりの修学旅行は、生田流の師範免状取得試験と重なったため、参加しなかつたそうです。

現在は生田流正派の大師範で、ラジオに出演したり、サントリーホールや国立劇場で演奏。10年ほど前から東京芸大卒の女性3人(鈴木麻衣さん、石田真奈美さん、竹内聖さん)と四重奏団を結成し、各地で演奏会を開いています。

箏曲というと、古い曲を思い出しますが、この四重奏団はポピュラーも演奏。新年会では前半はポピュラー、後半はビバルディの曲を含む華やかな箏曲四重奏を演奏する予定です。

ご主人の前田芳造さんも同窓生(49期)で、千葉県酒々井町で外科医院を開業しています。

【日時】1月23日(木)

18:00 受付開始 18:30 開会(箏四重奏) 19:20 懇親会

【会場】千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館9階 喜山倶楽部

【会費】5,000円

【交通】○地下鉄新宿線・半蔵門線神保町駅(A1出口)

三田線神保町駅(A8、A9出口)下車徒歩3-5分

○地下鉄東西線竹橋駅(北の丸公園側出口)

下車徒歩5分





第52回総会 菅谷昭 松本市長が講演

「命を大切にすまちづくり」 健康寿命の延伸を目指す

第52回上田高校関東同窓会総会・懇親会が6月30日の日曜日、東京・千代田区の如水会館で開催され、46期から111期までの223人が参加した。開幕イベントでは、チェルノブイリ

原発事故の医療支援を経験した松本市長、菅谷昭氏（60期）が「命を大切にすまちづくりー健康寿命延伸都市・松本の創造」と題して講演。

長野県の衛生部長時代、市民から推されて市長選に立候補した直後に胃がんが見つかったことや、落選すると思っていたら「運悪く」当選してしまったことなどの「選挙秘話」を、ユーモアを交えて紹介した。

医療者出身の市長として1期目は「健康づくり、危機管理、子育て支援」（3K政策）を推進。2期目からは、それを発展させた「健康寿命延伸都市の創造」を最重要目標に掲げ、時代を先取りする新たな都市モデルを松本から全国に発信することを目指している。



菅谷昭 松本市長



「健康寿命」とは「平均寿命」から要介護などの期間を引いた期間。最初は市民から見向きもされなかったが、厚生労働省が最近、今後10年間の最重要目標を「健康寿命の延伸」に定めたため急に全国的に脚光を浴び、職員や市民から「先見の明」を見直されているそうだ。

講演の要約

松本市長になったのは2004年。その3年前にチェルノブイリから帰国し、田中康夫長野県知事に請われて県衛生部に入った。60歳の定年を迎える時、松本市長選に出てくれとの話があった。「金も地盤もないから当選しない」と言う。「それでもいい」というので出馬したら、「運悪く」当選してしまった。実は選挙戦に入る前に胃がんが見つかった。当選記者会見で「これから入院して手術する」と言うと、みんなびっくりした。

さんから電話があった。「日本中が汚染のことを心配している時に、あなたが前になんかどうするんだ」と怒られ、発言するようになった。

3期目は無投票で当選。「健康寿命延伸都市」は市民からあまり支持されなかったが、厚生労働省が今年に入って、向こう10年間の最重要目標を「健康寿命の延伸」に決め、それがアベノミクスの第3の矢の成長戦略の一つになった。今では「菅谷さんは国を動かした」と言われるようになった。

市長としては、医療者の経験を生かしたまちづくりを考えた。1期目は健康づくり、危機管理、子育て支援（3K政策）を実施した。2期目は「健康寿命延伸都市の創造」を掲げ、超少子高齢型人口減少時代に対応するまちづくりを目指したが、職員にも市民にも評判が悪かった。健康寿命とは平均寿命から要介護期間をマイナスした期間。「時代を先取りする新たな都市モデルだ。松本から全国に向け発信しよう」と訴えたが、最初は馬鹿にされた。

チェルノブイリに行ったのは、人生のリストラをしたかったから。自分の経験をどこかで生かすことができないかと考えていた時、チェルノブイリの事故にぶつかった。人生を軌道修正するための行動だったが、お金に換えられない経験ができた。そこでは、がんにかかって明日をも知れない子どもたちが汚染地で生活していた。そうした経験から、原発事故後の政府のやり方を一貫して批判している。

2011年3月に福島原発事故が起きた。私はチェルノブイリで被災者の医療支援活動をした経験がある。静かにしていると、松本を舞台にした刑事ドラマが縁で知り合った北大路欣也

向こうにいる時、日本人は寛大で素晴らしい民族だが、ワツと騒いですぐ忘れてしまう「悪性反復性健忘症」と診断した。今回の原発事故では、そこから脱却してほしいとお願いしたが、ほとんど忘れてる。報道も同じだ。だから今は「難治性」を付け加えて「難治性悪性反復健忘症」と呼んでいる。



懇親会

女性4人のハーモニー

西入真子さん(95期)が校歌熱唱

総会に続いて隣の大ホールで開かれた懇親会では、西入真子さん(95期)ら4人の女性ボーカルを中心とした7人編成バンド「The Honey Bees」がヒットソングを次々



The Honey Bees のコーラス



西入真子さん

と演奏した。

「ドリームガールズ」「ハナミズキ」「ここに幸あれ」などの曲を演奏した後、いきなり西入さんが「秋玲瓏の空衝きて…」とソロで歌い出すサプライズ演出も。この後、参加者全員による校歌斉唱となり、会場の熱気は最高潮に達した。

最後は「青い山脈」などの昭和歌謡メドレーを歌い、年配者から若者まで幅広い世代が音楽を楽しんだ。



懇親会を楽しむ若い人たち

ゆかりの旧会旗 見つかる



関東同窓会総会
でお目にとまった
かも知れませんが、
旧会旗をロビーに
披露しました。

積年の荷物整理
と古い支度を兼ね
て倉庫の整理をし
ていたところ、あ
の旗が出てきてび
つくり。遠い昔に記憶をたどれば、数々の思い出
がこの旗とともに出てきます。

「なぜこれが拙宅にあるのか」ですが、関東同窓
会が上田本部の支部だった矢島五郎会長までは「上
田高校同窓会関東支部」でした。支部といっても
本部から援助を受けていたわけでもなく、むしろ、
戦後まもなくの母校火災の折には、東京在住者が
多額の寄付金を集めて支援するなど、立派な独立
体でした。

だから矢島会長から神野勝男会長に引き継がれ
る際、「上田高校関東六文会」「上田高校烏帽子会」
など候補名も上がりましたが、大先輩方のご判断
で「上田高校関東同窓会」に決まった経緯があり
ます。その時、新たに作ったのが現在の旗です。
旧来の旗は始末が面倒だったのか、「おめえ、しま
っておけ」と言われて、お預かりしたような気が
します。

しかし、これは歴史を歩んできた会旗ですから、
未永く宝物として受け継いでいただければ、亡き
先輩方も喜びでしょう。

馬場武彦(54期)

Outsourcingの知識集団
株式会社 fellow

取締役社長 古畑克巳(69期)
(公認会計士)

東京都千代田区内神田 1-18-11 東京ロイヤルプラザ 1109号
TEL 03-3293-8931 FAX 03-3295-6005
<http://www16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html>

櫻田法律事務所

弁護士 櫻田 喜貢穂 (65期)

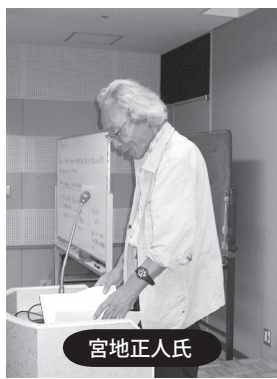
弁護士 今井 亮 (野沢北高校)

〒102-0092 千代田区隼町 2-17 金辰ビル 3F
Tel 03-3512-3562・Fax 03-3512-3563
sakura@sakurada-jimusho.com

「赤松小三郎研究会」発足

宮地正人氏、丸山瑛一氏が講演

関東同窓会のアクションプランの一環として、「赤松小三郎研究会」（同好会）が発足しました。郷土の幕末の奇才、赤松小三郎の事跡を知り、時代背景を理解し、上田藩の事情や小三郎が果たした役割、関連する人物などについて研究し、会員相互の親睦を図ってまいります。



宮地正人氏



丸山瑛一氏



ただき、研究会としては順調なスタートを切ることができました。

関東同窓会の滝澤進会長のあいさつに続いて行なわれた宮地正人・東京大学名誉教授（前国立歴史民俗博物館館長）による基調講演「赤松小三郎と上田藩」では、小三郎が1848年（嘉永元年・18歳）に江戸の内田弥太郎の「マテマテカ塾」に入塾する時から、1867年（慶応3年・37歳）に松平春嶽に7策の建白書を提出し京都で暗殺されるまでを、レジュメに沿って解説していただくと同

時に、多くの疑問点や今後の研究課題をご提示いただきました。

（例1）1854年に赤松はなぜ勝塾に入ったのか。上田藩の許可はどのような形で出されたのか。

当時の上田藩は国家老の藤井右膳派と江戸家老の岡部九郎兵衛派の対立の結果、岡部派が優位になる中で軍政改革が行き詰まるという状況があったが、そのことと関係があるのか。

（例2）1866年2月に京都で私塾を開塾した経緯についての疑問。第二次長州征伐のために上田藩も動員されていた時期で、上田藩士の身分の赤松が開塾するにあたり、藩の許可はどのように得たのか。薩摩藩士が多数入塾しているが、当時の上田藩と薩摩藩の関係はどうであったか。

この他、宮地先生による疑問点の多くは、そもそも専門家による研究がこれからであったり、場合によっては古文書の解読を必要とするもので、当研究会でどこまで解明できるかわかりませんが、まずは研究会発足にあたり、みんなでこれらの疑問点の共通認識を図り、今後の研究会活動に生かしていくことにしました。

最後に、講演の中で宮地先生が何度も強調していたフレーズがありましたので、ご紹介します。

「この研究会が赤松小三郎を単なる郷土自慢に終わらせることなく、史実に基づく研究活動を期待します」。重く受け止めたいと思います。

後半は、丸山瑛一氏（51期、当研究会顧問）による講演「山本覚馬が京都をつくった」が行われました。講演の中で同氏が強調されたことの趣旨は次の通りです。

これまで赤松小三郎の二院制議会の提案が坂本龍馬の「船中八策」に先駆けているということだけが強調されてきたきらいがあるが、山本覚馬と赤松小三郎の親交に着目すると、赤松の口上書（7策の建白書）

に書かれた提案は山本覚馬の「管見」の下敷きにされて京都府と明治政府

によって実行された多くの近代化政策に実際に反映されている。その意味で、赤松小三郎は明治日本の近代化政策のグランドデザインを描いた中心人物と言える。

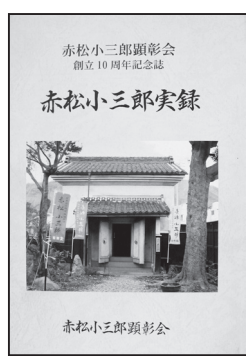
山本覚馬の京都府顧問や府議会議長としての活躍の様子はNHKの大河ドラマ「八重の桜」に良く描かれていましたが、残念ながら赤松小三郎は登場しませんでした。

同研究会は、偶数月の第3火曜日（原則）に定例の研究会を行います。詳細は関東同窓会HP（同好会活動）をご参照ください。

赤松小三郎研究会事務局
荻原 貴（79期）

「赤松小三郎実録」を発行 上田の顕彰会

上田市の「赤松小三郎顕彰会」（伊東邦夫会長、51期）は4月、同会の設立10周年を記念し、小三郎の生涯をまとめた冊子「赤松小三郎実録」を発行した。



赤松の功績を正しく知ってもらうため会員が史料を読み解いて編集。巻頭には赤松の肖像、彼の指導を受けた東郷平八郎らが上田を訪れた時の写真などを掲載した。赤松に触れた書物などにある記述の「正誤表」も収録し、巻末には赤松を紹介する子ども向けの絵本も付けた。

全123ページ。500部限定印刷。実費頒価1300円。



女性同窓会に24人参加

アメリカンポップアート展鑑賞

昨年に引き続き女性同窓会を開催しました。今回は会報86号でご案内した前田喜美子(キミコ・パウーズ)さん(54期)所有のアメリカンポップアート展の鑑賞とランチの会でした。「ご本人と一緒できれば」とご連絡したところ、快くご都合をつけてくださったので、ホームページなどで案内し、

10月3日に前田さんも含め52期から93期までの24人が国立新美術館3階のレストラン前に集合しました。

和やかなあいさつもそこそこレストランへ。4テーブルに分かれての食事は先輩後輩と一緒に、担任の先生の話から介護や家の処分、仕事のことなど楽しい交流会になりました。



国立新美術館に集まった52期から93期までの女性

このままずっと話して終わりそうな盛り上がり方でしたが、いったん閉じて2階の企画展会場に移動。前田さんが「私の説明よりいいですから」と借りてくださった音声ガイドで素晴らしいアートの数々を鑑賞させていただきました。

見応えのある大きな絵、ポップな色使いに、ポップアートに初めて触れる方も多かったのですが、

期待していた以上に堪能しました。

その後、時間のある方は残って2階のカフェで交流会。同じ高校に通っていたというだけでこんなにどなたとも仲良く話せるのが不思議。先輩の美しい年の重ね方にあこがれ、後輩の活躍にまぶしさ

やまびこ句会が11月例会

浜離宮「芳梅亭」に12人が参会

「やまびこ句会」の例会が11月8日(金)開催された。今月は「浜離宮」での吟行。幸い小春日和、12人が参会した。

を観ながら、また江戸時代に思いをはせて散策、句作り。午後1時時に庭園内の「芳梅亭」に集合し、早速発表、句評をいただく。



早い人は午前10時前には庭園に入り、汐入りの池や吉宗ゆかりの300年松、多数の水鳥などの景

句会が始まり1年余。「皆上達したなあ」と実感し、併せて難しさも知る。

毎月第2金曜日が例会。費用は都度2〜300円のみ。楽しい句会です。入会をお待ちしています。

以下は今年5月〜11月の会員の自信作です。いかがでしょうか。

高梨奉男(62期)

株式会社TOPUバイオ研究所

富山県立大学 (Toyama Prefectural University) のバイオ関連研究成果を社会に還元するために設立した産官学連携ベンチャー企業です。

代表取締役 大野正廣 (65期)

本社 富山県富山市梅沢町 2-9-1
 射水研究所 富山県射水市黒川 5180 (富山県立大学内)
 TEL 076-424-2285

やまびこ句会 (5月〜11月)

- (一江) 父の忌の邯鄲に耳澄ましをり
- (隆行) かき氷孫に笑顔の戻りけり
- (前歩) 水泡立つ潮入り池や冬ぬくし
- (隆治) 白南風や亀重なりて甲羅干す
- (正佳) 杖を手にばあちゃん輪に入る盆踊り
- (貴美) 熊蟬の声の中なる高知城
- (太郎) 前栽に母の自慢の菊の花
- (奉男) (ラハにて)
- (正雄) 聖堂にパイプオルガン夏夕べ
- (平八) 老木の桜に覚え社宅跡
- (由美) 早朝のアムステルダム榆若葉
- (孝昭) 夏雲の沸き立つ空にオスプレイ
- (孝昭) 施食会の経に溶け込む蟬しぐれ

上田ゆかりの偉人

米国で活躍した写真家

ハリリー・K・シゲタ

長野県主幹学芸員 滝澤正幸(77期)

上田市では現在、半世紀に一度の大プロジェクトとして、ホールなどの交流文化芸術センターと市立美術館を建設中である。ハリリー・K・シゲタは、その中心的顕彰作家として位置づけられている。

上田で既にカメラと西洋美術に對するあこがれを募らせていたシゲタ少年は、ミネソタ州のセントポール美術研究所に入学。また、手先の器用さからマジシャンとしても舞台上に立ち、これは人間の視覚や認識がいかに幻惑されやすいかを体感したという意味において、後の写真の構想にも反映され



「渦巻」 ロンドン国際写真コンペで最高賞受賞

ている。やがて当時の全米第2の都市シカゴに移住し、写真スタジオを構える。時あたかも大量消費社会の大発展期であった。シゲタの商業写真家としての成功は、こうした社会を反映している。



1953年撮影

訪米中の天皇陛下(当時皇太子)とシゲタ(向かって左隣)

置を占めていた。「Notan(濃淡)」はアメリカの写真家たちの関心事となり、シゲタも積極的に日本の美意識を紹介している。そんなシゲタを苦しめたのは、他ならぬ二つの祖国の開戦であった。多くの日系人が強制収容所に送られ、シゲタもまた様々な活動制限を受ける。しかし彼の人柄を知る多くの写真家や市民が署名活動を行い、シゲタ救済を国に嘆願したのである。「私が学んできたことはすべて社会のものである」という彼の言葉は、こうした米社会の厚みを反映したものだ。

といえ広告写真の世界は厳しい。わずか一枚の写真によって「物の魅力を引き出し、提示し、納得させ、売ること」の達成を求められる。そして商業写真と芸術写真は、その高みにおいては同一のものである。

19世紀末から「ピクトリアリズム(絵画的芸術写真)」の潮流が勃興し、彼はその中でも重要な位置を占めていた。開戦翌年、彼はアメリカ写真連盟から名誉会員の称号を受け、1948年にはロンドン国際写真コンペティションにおいて「渦巻」が最高賞を受賞。翌年には全米写真学会から特別名誉会員に推される。1963年、米国で永眠したシゲタであったが、晩年まで「太郎山や千曲川が見たい」と言っていたという。

プライベートバンカー(PB)資格試験

申込受付中

個人賛助会員

自分自身や家族の人生設計に関心のある方々に最適金融サービスの基礎知識を提供!

会員の特典が多数あります!

入門テキスト「あなたもなれる! PBコーディネーター」:
定価 1,800円(税別)

証券アナリストジャーナルの毎月送付、会社説明会(無料)・講演会・セミナー(会員割引価格)の参加など。

PBコーディネーター(初級資格)受験料: 10,000円
お問い合わせ: 03-3666-1933 (pb@saa.or.jp)

年会費: 18,000円以上(満65歳以上の方は、12,000円)
お問い合わせ: 03-3666-1411 (member@saa.or.jp)



公益社団法人 日本証券アナリスト協会 (59期 萩原清人)



上田高校で社会講座

同窓生が「出張」して1年生に専門分野について講義する社会講座が9月12日、上田高校で開かれました。関東同窓会から派遣された講師の皆さんから感想文が寄せられましたので、ご紹介します。

「試百難」が身にしてみる

片岡拓雄 (77期)

9月12日、澄み切った空気を通り抜けた太陽の下、和気あいあいと生徒の表情が輝いている日常的な高校生の昼休みの光景です。すると、そこには、社会講座の工学担当として、誤ってタイムマシンに乗って母校に足を踏み入れてしまった自分が居ました。講師はやめて高校1年生に若返りたいとの、非現実的な思いが確実に芽生えるまで、そう長く時間は

このたび縁あって、母校を30年ぶりに訪れ、授業を担当しました。私のところに完成した校舎の図書館は、飾ってある絵画もそのまま、懐かしく思わず写真を撮りました。

さて私はこれから進路を考えていくなかで、世の中はどう変わっているのか、そのために自分が準備できることなど、企業で働く1人としてお話ししました。

経済同友会を通して、東京都内の高校生向けにキャリア教育の授業をすることがありますが、東京の高校

宇宙への興味

松原隆彦 (83期)

昨年に引き続き1年生社会講座の理学分野講師に招いていただき、「宇宙論の研究」と題してお話させていただきました。今年は76人も生徒が集まり、会場の大教室は満席になりました。それだけ宇宙に興味を持つ生徒が多いことを痛感しました。

講義では、最初に私の経歴を振り返りつつ、理学の分野で研究者になるとはどういうことな

無駄な経験はない

押金美和 (94期)

私は法政大学社会学部卒業後、制作会社を経てイラストレーターになりました。現在書籍表紙、広告、CD、東京スカイツリーの公式グッズなど幅広く活動しております。

講演では、すべての経験は絶対に無駄にならないので、目の前にあることに意志を持って全力投球してほしいと、自分の経験を踏まえお話ししました。

高校ではバレー班で、美術とは無縁の生活でした。そこで培われた忍耐力、体力は締め切り

のかをお話ししました。また学部卒、修士卒、博士卒の各段階で企業などへ就職する事例なども紹介しました。

その後は宇宙論研究の最前線をわかりやすく紹介したり、さらに興味を引くためタイムマシンの可能性についてお話ししたりしました。

私自身にとっても有意義で楽しく、貴重なひとときを過ごさせていただきました。

自分が直接感じたものが尊い、そこから種々の仕事が生まれてくるものでなければならぬ」という言葉は、制作、人生の選択において大きな影響を与えました。大学で学んだ社会問題、大好きな洋楽、様々なジャンルの方たちとの出会い、どれを欠いても今の私は存在しません。必ず何かにつながるの、いろいろなことにアンテナをもって今を生きてほしいと思います。

生徒たちの自主的に進行する姿や質問、真剣なまなざしがとても頼もしく見えました。後輩たちの様々な分野での活躍がとても楽しみです。

渡邊聡明 東大医学部教授の「進路講演会」開催

「一夢を持とうー 高校時代に迷ったこと、そして今思うこと」

大腸がんの権威として有名な渡邊聡明・東大医学部腫瘍外科教授 (75期) を講師とする「進路講演会」が2014年2月に母校主催により上田市民会館で開かれます。受講対象者は高校1、2年生ですが、保護者や卒業生の皆さんも聴講できます (事前の申し込みは不要です)。多数の皆さんの参加をお待ちしています。

【日時】2014年2月27日(木) 午後1時40分～午後4時

【場所】上田市二の丸1-2 上田市民会館



同窓生の新刊本

この欄では同窓生の皆さんが最近、上梓した本を掲載しています。紹介したい新刊図書がありましたら、左記のメールアドレスにご連絡ください。

takao.mayama@nifty.com

(編集長 真山隆夫)

(定価は外税)

『血糖値が上がらないレシピ』

池田義雄 (51期) 共著



アスペクト 1300円

体にいい、血糖値が急激にあがらない！消化吸収がゆっくりで、血糖値をゆるやかにあげるスロークロリー・レシピブック。

『亜鉛の機能と健康』

倉澤隆平 (54期) 共著



建帛社 3800円

日本栄養・食糧学会大会の内容を基に最新の研究成果をまとめた。亜鉛の栄養素特性や生理機能の研究成果をわかりやすく記述。

『わくわく漢字の世界の大冒険』

馬場雄二 (54期)



日本図書センター 1500円

「てんつかけの術」など、「世界一受けたい授業」で人気を博した漢字パズル合計20の問題を収録。脳科学者の茂木健一郎氏も絶賛。

『アーティストたちとの会話』

前田喜美子 (54期) 共著



講談社 2000円

アートに恋し、アートに愛されたキミコ・パワーズ(前田喜美子)。比類なきコレクションとアーティストたちとの交流を語る。

『医者に命を預けるな』

中村仁一 (56期)



PHP文庫 533円

いくら医学が進歩しても、病気を治す根本は患者の自然治癒力。医者や薬は補助にすぎない。医療への過大評価に警鐘を鳴らす一冊。

『老人病・認知症』(改訂版)

荻原俊男 (60期) 監修



メディカルレビュー社 1800円

長寿の秘訣、老年病、認知症、老後の過ごし方について説明。日常生活の心構えやアンチエイジングのバイブルとしてご活用ください。

『思惟する天文学』

平林久 (60期) 共著



新日本出版社 2000円

宇宙に満ちる暗黒のエネルギー。宇宙とは、生命とは、私たち以外に文明は？ 根本の難問に10人の天文学者が挑んだ宇宙を哲学する本。

『上田城跡公園の石碑と胸像』

編集責任者 市村光志 (62期)



非売品

上田城跡公園にある数多くの石碑・胸像の碑文や顕彰された人物の事跡をまとめた冊子。上田市の大手町自治会が作成。56ページ。

『日本は資源大国になれる』

小須田道彦 (73期)



東京図書出版 1143円

もう原発はいらない！メタンハイドレート、地熱、レアメタル、人材教育。第一線の資源エンジニアが語る日本の資源とエネルギー。

『開発法学の基礎理論』

松尾弘 (79期)



勁草書房 3600円

良い国づくりを支える法制度とは何かを問う「開発法学」の決定版。グローバル化で動揺する国家と国家間統治を法整備の観点から展望。

『とっておきのお持ちよりレシピ』

阪下千恵 (93期)



新星出版 1200円

手づくり料理を持ち寄って集まる機会に、簡単なのにみんなに喜ばれる料理を持参したい！そんな声に応えるレシピを集めた1冊。

『弁護士独立のすすめ』

北周士 (98期)



第一法規 2500円

若手弁護士による独立開業体験談。地方での開業、個人、共同経営など多様化する独立の形を伝え、自分に合った開業の方向性を導く。



JAPAN ARTS

人のいるところには夢がある。

株式会社 ジャパン・アーツ

代表取締役会長 関田 正幸 (63期)

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6
TEL: 03-3499-8100 FAX: 03-3499-8102
E-mail: sekita@japanarts.co.jp
URL: http://www.japanarts.co.jp/

有限会社 綾藤マネジメントシステム
代表取締役 近藤正昭 (69期)

春日部市梅田2-2-15 B-402
☎ 048-762-0061



足して30歳、浅間山に登る

元気な鎌倉散策組4人が初挑戦

新緑まぶしい信州の浅間山に、鎌倉散策組の4人が初挑戦した。全員、丑年生まれだが、まだ誕生日を迎えていない。従って、75歳×4＝300歳というわけ。

前日、小諸駅頭に小山盛夫元五四期会会長が迎えに出てくれ、宿泊場所の浅間山荘まで送ってくれた。小山兄顔馴染みの山荘の女将が「会長さんが運転手？」と驚いていた。さぞかし、われわれ4人をどこぞのVIPと思ったことだろう。山荘の夕飯は地元で採取された山菜のてんぷらやゴマ和え、信州豚の入った豚汁など、質も量も満足。登山前夜とあって、お酒は生ビール・ジョッキ1杯でお酒は生ビール・ジョッキ1杯で我慢した。



翌朝8時に山荘を出発、火山館コースⅡ一の鳥居く不動滝Ⅱの鳥居く火山館く湯の平口く賽の河原く浅間山(前掛山)の往復コースを選択した。

コースⅡ一の鳥居く不動滝Ⅱの鳥居く火山館く湯の平口く賽の河原く浅間山(前掛山)の往復コースを選択した。

レンゲツツジが真っ盛りで、ハクサンイチゲやイワカガミも可憐な花を咲かせていた。小雨がぱらついたが、歩くにはもってこいの気温。正午過ぎに浅間山(2568m)直下まで到達したが、活動中のため立ち入り禁止になっており、昼食後、浅間山第2外輪山の前掛山(2524m)に挑戦した。4人が頂上標識を囲みストックをかざして登頂成功を祝った。午後1時過ぎ、もと来た道を引き返し、途中、かもしか平の風景に見ほれ、浅間山第1外輪山の黒斑山を仰ぎ見ながら下山。午後4時に、今日も出迎えてくれた小山兄が待つ山荘へ4人がそろって無事帰り着いた。往復8時間、「足して300歳の浅間山初登頂」となった。

その夜は、小山盛夫、春日勇次郎、倉澤隆平の元前現五四

期会会長がそろって軽井沢イクシブでわれわれのために慰労会を催してくれた。小山兄の送迎を始め、至れり尽くせりの大名気分を終え

喜寿の6人、白馬岳に登頂

五四期会横浜組、達成感に酔う



た浅間山行だった。今回の浅間山行参加者は、神津勝重、小菅健司、田村朗、杓掛文哉。

五四期会横浜組の神津勝重、小菅健司、田村朗、杓掛文哉に、北杜市在住の荻原統夫と岡谷市にいる林五介が加わって、日本3大雪溪の一つを擁する白馬岳(2932m)に挑戦した。横浜の4人は八王子から、荻原は小淵沢から、アンカーの林は岡谷から冷えた缶ビール6本をぶら下げ、それぞれ「スーパアーズ5号」に乗車した。

翌日は雨だった。6人が集まって協議。甲論乙駁あったが、結局連泊して明日まで様子見することとする。山小屋に「小雪溪で滑落があった」「白馬鍾温泉で遭難あり」などの情報が入った。

白馬岳に到着、いよいよ白馬岳行のスタートである。猿倉までバ

早暁4時、窓を開けたら星が降るほどに見える。全員を起こして

外へ。天の川やスバル、金星も見えた。太陽を背にしたら雲間にブロッケン現象が起きた。

途中、高山植物の女王・コマクサの群落やイワギキョウなどの可憐さに感動、さらには雷鳥の親子連れにまで遭遇した。白馬大池周辺に咲く多種類の高山植物のお花畑は圧巻であった。

最終の蓮華温泉ロッジに下る。登りと違って息は切れないが、ひざの関節と大腿四頭筋に負担が掛る。天狗の庭を経由して終着の蓮華温泉ロッジに到着。玄関前で完全踏破の歓声を上げ、記念の集合写真を撮る。温泉で汗を流し、夜は生ビール、日本酒、ワインの3種混合で祝杯を挙げた。

5日目の最終日。朝食前、ロッジ所有の山中にある露天風呂で、妙齢の女性の許可をもらって混浴できたのは天の配剤であった。

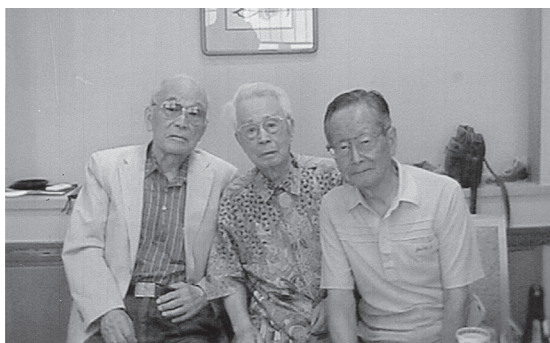
旧制上田中学40期の集い

90歳、参加者減り今年は3人に

私ども40期卒業生は1941年（昭和16年）3月卒業で、同期の卒業生は188人だった。年齢はほとんどが卒寿といわれる90歳になっている。

関東同窓会には1990年には48人が在籍していたが、今回、私が事務局から名簿をいただいて近況を聞いたところ、14人が健在でいることがわかった。しかし、半数ぐらいいは何らかの体調不良で、ままならない様子であった。

私どもが育ったころ言われた「人生50年」に比べると、長寿者が多くなつて隔世の感がある。長



左から荻原愈氏、児玉安彦氏、井本公一氏

寿は人類の希望であったが、いざ自分が90歳という老齢になると、必ずしも良いことばかりではない。

まず、感激することがなくなつた。友人が亡くなり、旅行や観劇、ゴルフなど、若い時にやっていたことができなくなるなど、マイナス面が出てきている。私はまだ自分のことは自分ででき、たまにはゴルフができる健康に恵まれているが、以前には少なかった認知症のような老人病が増えて若い人の負担が増え、長寿社会は必ずしも幸せだとは言いい切れなれないと思うようになった。

「40期の集い」は荻原愈君の肝いりで20数年前から渋谷の食堂に2カ月に一度集まつて食事を共にし、自分たちの過ごしてきた人生の話を話し合つて旧交を温めてきた。常連は上野豊重、小林郷司、大塚今朝信、小林博、小林政治、佐藤麟也、鈴木一郎、竹内武弥、丸山英一、山本周三、吉田節生、吉田光輝らだったが、池田正治が時々上田から出てきて、故郷の状況を話してくれた。

ここ数年、死亡者も出て参加者が少なくなつたので、やめようとして近況を聞いたところ、まだ6人ほどやりたいという希望があり「集い」を計画した。しかし1人は前日に入院、2人は当日が暑かつたので欠席ということで、3人だけになってしまった。参加者の話題は自分人生の経験や軍隊でのことであつた。われわれのクラス

は1年違いで徴兵された者が少なかった。

一つだけ話題を書いておこう。エネルギーの問題である。吉田節生君は原子力機構の幹部を務めていた。私は当時、東京産業廃棄物の協会の会長をしており、環境問題に頭を悩ましていた。だから使用済み燃料の処分が決まらないうちは、原子力発電所は問題であり、

それより地球が太陽から受けるエネルギーの6000分の1しか使っていないから、もっとそっちの方に力を注ぐべきだという論であった。論争は次回にということになったが、吉田君は亡くなつて、その半年後に福島原発事故が起きた。彼の意見を聞けなくて残念に思っている。

児玉安彦（40期）

次回総会の準備話し合おう

当番期67期の19人が同期会

7月末に厚労省が発表した「平成24年簡易生命表」により

まずと、われわれ67期が該当する62歳生存数（対10万人）は男

が90468人、女は

95012人で、平均余命は、それぞれ

21・28年と26・51年で

した。ほどほどに不健康でも、80歳超までは

生存できてしまう計算

です。

今年になつてから、最近気付いたことがあります。映画館のシニア割引入場の際、身分証の提示を要求されないのです。一目瞭然

東京・神田の「グリーンバツタイ」にて

なのでしょいか。「職務怠慢だろ！」。若干腹を立てております。やはり、自分だけは若いと錯覚してたいのでしょうか。小林猛君が声を掛けて、昨年引き続き6月23日（日）正午から東京・神田の「グリーンバツタイ」にて19人が参加して、67期同期会を開催しました。主要な議題は当然、当番期の53回総会に向けての役割分担でした。「忘れてないよね」皆さん！わたしと同様、自分だけは若いと錯覚してたい人々の集まりとなつていたようです。来年に向けてさらに取組みを強化していきます。出席されなかつた方にこの場を借りて要請します。メッセージは「目の前で生きていく」と言ってくれ」です。

堤達（67期）





今度は東海道53次の旅

草津宿から日本橋に向かって出発

京都三条大橋に到達して中山道の旅を終えたが、同期生との旅は楽しく、今度は東海道を日本橋に向かって旅することになった。

10月5日、草津駅に集合して、中山道と東海道の分岐点にある常夜燈から「右東海道いせみち」の方向へ歩く。

草津川の堤防沿いの道を歩いて草津川橋まで来ると、全く水がない。渡し場のなごりの常夜燈

が橋のもとに立っている。

しばらく歩くと、立派な城門が建っている。明治の廃藩置県で解体された膳所城の門とのこと。

目川一里塚を過ぎ、目川立場の古い、落ち着いた街並みを抜け、葉山川橋を渡った先に「九代將軍足利義尚公 鈎の陣所ゆかりの地」と刻んだ大きな碑が立てられている。足利義尚は陣中で病に倒れ、25歳の若さで、この地で没したとある。

東経136度子午線の碑、里中大明神の社を過ぎ、ようやく六地藏の一里塚。ここには国重文に指定されている旧和中散本舗の豪壮な屋敷がある。



中山道と東海道の分岐点にある草津常夜灯道標の前で

さらに1里歩いて、ようやく石部宿入口の常夜燈にたどり着いた。石部宿は「京立ち石部泊り」と言われ、京をたつた旅人の1泊目が石

部宿であった。全盛期には、街並みは1・6キロも続いていたというが、かつての面影はない。

この日は三雲駅近くのビジネスホテルで泊り、翌日、旧東海道を歩き水口宿に向かった。

東海道十三渡の一つ、横田渡跡に立つ常夜燈は高さ10・5メートルもある。ここから田んぼの中の道を歩く。東に向かつて歩くので朝日がまぶしく暑い。ようやく水口宿西見附跡に着く。

宿場の入口に近い水口城跡を先に見学。水口城は、3代將軍家光

佐藤之俊氏が「肺がんよもやま話」

理科系班OB会に14人参加

の上洛に先立ち、將軍の宿泊所として築かれたもので、天守閣などはない。明治維新後、廃城となり処分されたが、ふるさと創生事業として堀、橋を整備し、番所跡に往時の矢倉を模した資料館が造られている。

水口宿は城下町でもあるので宿場内の道は鈎の手にいくつも曲がっている。本陣は取り壊されて碑のみだが、ベンガラ格子の入った古い街並みが残り、旧旅館屋を利用したレストランで食べたランチはおいしかった。清水計枝(64期)

上田高校理科系班OB会は8月25日(日)午後5時から銀座の居酒屋「大庄水産」で開かれました。

参加者は14人で、化学の清水周先生(47期)、堀内弘栄(51)、堀内忠久(53)、吉澤壮夫(53)、宮原廻雄(57)、大井秀三郎(58)、高橋福幸(58)、矢嶋瑞夫(58)、萩原清人(59)、岡田涉(64)、丸山幸雄(65)、安藤学(73)、佐藤之俊(77)、清水雄至(79)の諸氏でした。

今回の小講演は佐藤之俊・北

里大病院副院長による「肺がんよもやま話」。分かりやすいレジュメ付きで、質問が続出して講演に対する関心の高さを表していました。

清水先生はご高齢にもかかわらず、上田から参加してくださいました。今回は3人の方が初めて参加し、本会の将来展望を明るくしてくれました。

OB会は毎年8月最終日曜日に同じ店で行っています。

特に、60期以降の皆さん、同期や前後の方とお誘い合わせの上でご参加ください。

矢嶋瑞夫(58期)

ソフトウェアの

システム技研株式会社

代表取締役 清水 通男 (66期)

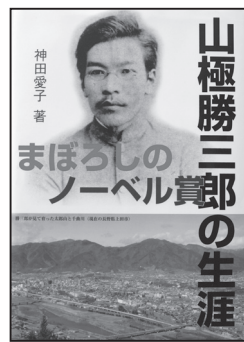
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-34-1 サンフジビル5F

TEL (03)5272-8830 FAX (03)5272-8836

URL <http://www.s-giken.com>

産経児童出版文化賞を受賞

神田愛子さんの「まぼろしのノーベル賞」



よる受賞祝賀会が日本橋の和食レストランで実施された。

神田さんは贈賞式では受賞者中であたし1人と和服だったが、猛暑日でもあり、祝賀会は平服に着替えて出席した。

上田在住の児童文学作家の神田愛子さん（65期）の著書「まぼろしのノーベル賞」山極勝三郎の生涯」が、第60回産経児童出版文化賞の産経新聞社賞を受賞し、7月9日に都内ホテルで秋篠宮妃紀子さまご臨席のもと、贈賞式が行われた。

受賞後、関東の65期有志8人に



神田愛子さん（中央）と65期の有志

乾杯の後、神田さんがスピーチし、執筆にあたっての苦労話や出版後のエピソード、受賞の経緯（新聞によると4200冊の推薦書から8冊を選出）などについて詳しく説明。贈賞式での紀子さまの印象についても話してくれた。

参加者からは質問が相次ぎ、神田さんはせっかくの食事もゆつくりと賞味できないほどの盛り上がり。最大の話題は、山本鼎、山極勝三郎に続く第3作目の対象主人公を誰にするかであった。

俳人でもある神田さんの喜びの一句

「我が著書の受賞の知らせ万愚節」（万愚節とは4月1日のこと）

上原 昇（65期）

松原隆彦氏に「林忠四郎賞」天文学の最高賞



「宇宙に外側はあるか」「現代宇宙論」などの著書で知られる名古屋大学大学院准教授の松原隆彦氏（83期）が3月21日、日本天文学会の第17回「林忠四郎賞」を受賞した。この賞は天文学の分野で、独創的かつ貢献が大きい研究業績をあげた個人やグループに贈られる。

松原准教授の受賞研究は「統計的摂動解析理論に基づく観測的宇宙論の開拓」。分かりやすく説明すると、次のようになる。

宇宙の成り立ちを調べるのに有力な方法として、できる限り広い範囲の宇宙を調べ尽くすというものがある。宇宙には想像を絶する大規模な構造が見つ

かつて、「宇宙の大規模構造」と呼ばれている。松原氏は独創的な手法を用いることにより、この大規模構造を説明する理論の数々を開拓した。

その手法は、近年になって現代宇宙論のミステリーであるダークマターやダークエネルギーの性質を調べるのに用いられるようになっている。

松原氏は京都大学理学部を卒業し、広島大学大学院修了。その後、東京大学大学院助手、ジョンズホプキンス大学研究員などを経て、現在、名古屋大学大学院理学研究科素粒子宇宙物理学専攻准教授。

ホームページ作成（無料）、WEBマーケティングを通じて国内および海外市場への進出、開拓、提携などを支援

(株)ニュービジネスビジョン
(1985年設立・資本金1000万円)

創業者・会長 中澤 清 (61期 米国永住権取得)

代表取締役 宮下義弘

〒389-0505 長野県東御市和 1414-5
TEL 0268-71-5098 FAX 0268-64-5420
E-mail: info@nbv-j.com

ユーザーが求めるものを的確に形に変える「創造企業の発信地」それがコムズの将来像です

株式会社コムズ

代表取締役 小林直樹

経営顧問 中澤 清 (61期)

〒395-0151 長野県飯田市北方 1059 TEL 0265-48-0015 (代) FAX 0265-48-0018
HP <http://www.koms.co.jp> E-mail info@koms.co.jp

- ▶オゾン発生装置（水や空気の脱臭・消臭・除菌、食品の鮮度保持・食中毒予防）
- ▶特注電源、各種高周波ケーブル、ハーネス加工、各種検査治具、マイコン、FPGAなど、各種ケースなどの設計・開発・製造



同窓会コンペに43人参集

20回記念誌を作成、幹事交代

関東同窓会ゴルフコンペはなぜか雨の日が多く、今回(10月29日)も天気予報が外れ、終日雨。11年前に始まった当コンペも回を重ねるごとに参加者が増え、今では40人を超える大イベントである。

今回は初参加の5人も加え、54期から69期までの精鋭43人が千葉CC川間コース(野田市)に参集し、雨の中のプレーとなった。

その結果、個人戦の優勝は林長人さん(65期、第15回に続き2度目の栄冠)がグロス86、ネット70で、準優勝は宮島光男さん(55期)がグロス95、ネット70で、第

3位は関五郎さん(55期)がグロス98、ネット71と、いずれもアンダーパーの好成績であった。ブリーは室賀太郎さん(62期)、ベスグロは佐伯謹吾さん(63期)が79で獲得する。

4人以上参加の期で争われる期別対抗戦は7チームによる激戦の結果、55期(5人参加)が、全員安定した成績(平均ネット72.0)で春に続く連覇の偉業を達成した。2位は63期(4人参加)が平均ネット1.6差で続いた。

表彰式では20回大会を記念して参加者からカンパを募り、集まったお金を関東同窓会への寄付と会



スタート前の集合写真



あいさつする69期の新幹事団

報の広告に充てることにした。

また、11年間で20回続いたコンペの記録と写真を1冊のファイル

にまとめた記念誌を作成し、参加者に回覧した。この中には同好会発足当時の会長石井光春さん(54期)の「たかがゴルフ、されどゴルフ」や宮島光男さん(ゴルフ同

好会初代幹事)の「手探りで始めた初めてのコンペ」と題するエッセイも掲載されている。

長い間、幹事を務めてきた上原昇(65期)が今回をもって退任。後任の幹事は69期の皆さん(古畑

克巳代表、磯貝隼人、荒木久文、近藤正昭)に決まり、新幹事団が

ら力強いあいさつがあった。

多くの皆さんの協力により当コンペを続けることができ、心から感謝申し上げます。次回は来年4月7日(月)、船橋CCで開催の予定。

ゴルフ同好会幹事
上原 昇(65期)

窪田健志氏(99期)がリサイタル

10月28日に上野の東京文化会館で窪田健志さん(99期)のパーカッションリサイタルが開かれ、打楽器のリサイタルは初めてですが聴きに行きました。窪田さんには以前、関東同窓会総会で仲間と一緒に演奏していただき、その素晴らしい演奏ぶりは鮮明に記憶にあります。

打楽器だけの演奏は旋律がなく、技術と音源との調和が主と思われ、それを2時間も飽きさせずに楽しませるのはかなり難しい演奏と思いました。音源は20ぐらいあったようですが、スティックさばきは見事でした。途中、芸大で同級のフルート奏者、渡邊玲奈さんが一緒に演

奏され、さらに会場を魅了しました。初めて知ったのですが、フルートで尺八独特の音色と同じような音が出るには少々驚きました。さすがにドイツで優秀な資格を得られた方です。窪田さんのリサイタルのテーマは「原点からの想起」。上田で開催以来、2回目の開催ですが、ますますのご活躍を期待いたします。

丸山暢久(65期)



10月21日に名古屋で、同28日に東京で、第2回パーカッションリサイタルを開催しました。第1回を上田で6年前に行って以来の自主開催です。

パーカッション(打楽器)のソロ曲は、1つの楽器(マリンバ、小太鼓など)を使うこともあれば、マルチ・パーカッションと称する、いろんな楽器を並べて全身を使いながら演奏する曲など様々です。

ホールの手配から、他の演奏会へのチラシ挟み込みなどの裏方それに加えての練習、普段のオーケストラ業務…。準備は想像を越える大変さでしたが、喜んでいただいたお客さまの顔を見ると、また近々できるという気持ちで沸き起こって来ます。

年内最後は12月22日に京都の「青山音楽館」で行います。

窪田健志(99期)

特別寄稿

試百難と私

元上田高等学校長 藤本光世



設した児童養護施設「円福寺愛育園」の園長として、園の再建と児童養護施設のあるべき養育の確立に取り組んでいます。それは、上田高校在勤時に増して、試百難の日々でした。

園長の机の後ろにマタイ伝の言葉を書き添えています。『狭き門より入れ 滅びにいたる門は大きく その路は広く 之より入る者多し 生命(いのち)にいたる門は狭く その路は細く之を見出す者少なし』

私は今になってみると、本当に「だから良かった」なのです。私が園長に昇進させた人物に対する反発から、約半数もの職員が6月に集団職場離脱するという予期せぬ重大事態発生のために佐久長聖中等高等学校の退職も余儀なくまりました。

上田高校を退職してから6年の歳月が流れようとしています。その間、日置勇二理事長、白井透前関東同窓会長をはじめ多くの同窓生の皆さまに温かくご厚誼を賜っており、この場をお借りして御礼申し上げます。

この問題を県下最初の土曜授業という形で乗り越え、授業時間数を確保するとともに、放課後あるいは土曜日のクラブ活動の時間を保てたことは、上田高校の試百難を事実で示せたと思っております。

この9月に、AOKI ホールディングスの青木 擴憲(ひろのり)会長が「何があっても、だから良かった」という本をPH P研究所から上梓されました。この本の題名は、まさに正しい試百難を表しているかと実感しています。というのは、私がこの仕事を引き継いだ時に発生した、間違えれば園を解散しなければならぬほどの試百難は、今になってみると、本当に「だから良かった」なのです。

私たちが試百難で人生に向かい、その姿を見せる。それを見た生徒がそうだと感動し、試百難の心が太い伝統となつて脈々と受け継がれると思うのです。それは「凡事徹底」であり、「狭き門に入れ」であり、その具体的な実践と事実でしょう。私はそのように思っています。



藤本光世氏と児童養護施設「愛育園」の子どもたち

株式会社 コミヤマ
 常務取締役 小宮山 始 (73期)
 長野県小諸市大字市950番地
 ☎0267-22-2311

天然酵母田舎パンの店
ルヴァン Levain
 ふるさとへ帰って来たら
 ぜひ立ち寄ってください
 オーナー 甲田 幹夫 (65期)
 富ヶ谷店：渋谷区富ヶ谷 2-43-13 TEL 03-3468-9669
 信州上田店：上田市中央 4-7-31 TEL 0268-26-3866

お客様に夢を 社員に夢を 地域に夢を
 別所温泉 一人旅の宿 **上松屋** 心の自由劇場 HEART THEATER
 社長 倉沢 章 倉沢 裕 (69期)
 信州 / 別所温泉・政府登録国際観光旅館
 〒386-1431 長野県上田市別所温泉 1628 番地
 TEL.0268-38-2300 FAX.0268-38-8501



Essay

ドイツ語追試験の身代わり

竹田 敏 (65期)

もう40年以上も前のことになる。当時は大学も単位取得や試験について、今よりはるかに寛容で、のんびりしていたような気がする。

「ドイツ語の追試験を俺の代わりに受けてくれないか」。理工系の大学に行った高校時代の友人から電話があった。教養課程から専門に上がるには単位を落とせないということだ。

悪友の頼みでは断れない。追試だし、学生証もちゃんと見ないから大丈夫だという。

朝、会場の大教室には同じ追試を受ける学生が数十人ほど席についていた。試験問題は、5行ばかりのドイツ語の文章二つを日本語に訳すものである。1問目は初歩的な易しい文章であっさり訳ができた。しかし、2問目はやや専門的な内容で、知らない単語も多く、意味がつかめない箇所が幾つかあった。

「こんなはずじゃない。追試で落ちたら友人に会わず顔がない」と頭の中が真っ白になった。

と、隣の席の学生をみると、問題を解くのに辞書を繰っているではないか。しかし、よく見ると、彼は1

問目のとつばなですでに頓挫しているようだった。ドイツ語の辞書の引き方を知らないのだ。わたしは、その学生に小声で話しかけた。

「辞書の持ち込みは許されていたの？」

「掲示板にはそう書いてあったよ。知らなかったの」

友人の情報不足を恨んでも、すでに遅い。わたしは隣の学生に取引を持ちかけた。「辞書を使わせてくれないか。その代わり、単語の意味を教えるし、訳も見せるよ」

単語一つを引くのでさえ悪戦苦闘していたその学生は「渡りに舟」とばかりに辞書を渡してくれた。かくて、私は借りた辞書を駆使し、自分ではほぼ満点とも思われる答案を仕上げた。

2週間ほど経って、友人が私に電話をかけてきた。「完璧だったと言ってたけど、成績は『優』じゃなかったぜ」わたしは心の中でつぶやいた。「追試で『優』なんかもらえるわけないだろ。厚かましい」

ちなみに、身代わり追試験の報酬は、上にぎり寿司1人前だった。

は、上にぎり寿司1人前だった。

大学生会員の社会デビュー支援

▶OB訪問を希望される学生会員の皆さまへ

関東同窓会では大学生会員の皆さんへの就活支援として同窓生の社会人の先輩を紹介し、業界や所属している企業についての情報提供のほかに、仕事内容や求められる人材像などについて相談にのります。大学生であれば何年生でもOKです。社会人の先輩より直接話を聞いて業界や企業選びの参考にしてください。

▶OB訪問までの流れ

- ①学生会員支援事務局宛に「OB訪問希望メール」を送る
- ②事務局では登録されている社会人会員より学生会員が希望している業界の会員と調整し、訪問の了解を得る
- ③学生会員に訪問可能な社会人会員の連絡先などを連絡する
- ④学生会員は紹介された社会人会員と連絡をとり、日程や訪問場所を調整する
- ⑤OB訪問実施
- ⑥学生会員はOB訪問結果報告（感想など）を事務局宛に提出する

▶OB訪問を受けていただける社会人会員を募集中

現在、10数人の方に登録いただいておりますが、引き続き募集しておりますので、下記事務局宛にエントリーをお願いします。

▶連絡先

上田高等学校関東同窓会 学生会員支援事務局 倉沢 裕 (69期)

E-mail: kurasawa_hiroshi_keyakidai@yahoo.co.jp

OB訪問体験記

学生会員支援事務局の紹介を受け、りそな銀行にお勤めのOBを訪問させていただきました。面談では、金融業界の動向や震災後の対応など企業説明会では知ることのできないお話をお聞きすることができました。いただいたご助言もその後の就職活動において大変役立ちました。就活はインターネットでもできますが、生の情報を得るためにはOB訪問が最良の手段だと思います。これから就職活動を控えた皆さんはぜひ、自ら進んで行動してみてください。

横浜市立大4年Tさん (108期)

OB訪問を受けて

Tさんは金融機関志望で「地方銀行に興味がある」という事前情報をいただいております。私は少し立場が違いましたが、同じ金融機関勤務現役の立場から参考になればと思い、私が勤務する銀行や、これまでの経験と現在の仕事の内容などをお話しさせていただきました。話しているうちにとても真面目に大学生活を送っている様子があり、「さすが上田高校の後輩」という好印象を受けました。また真剣にいろいろな質問をする様子から、約30年前の当時の自分（孤独で、不安で、心身ともに疲れ果てた辛い就職活動時期）を思い出しながら、最後には「試百難」で乗り切ろうと励ましました。

萩原 貴 (79期)



1年生

学習合宿で集中勉強

スマホ、携帯持ち込み禁止

気候も寒くなり始めた10月中旬、1学年は学習合宿を行いました。生徒たちは、2年次科目選択に伴う文理選択に迷う時期ですが、もう一度学習習慣や自らの可能性を確かめてもらう良い機会になったかと思えます。

日常とは異なる環境（志賀パークホテル）での、学習のみに没頭する生活は生徒にとっては新鮮だったようです。台風の影響もあり、天気は最終日を除いては雨でしたが、室内に缶詰となり学習する状況とすれば、かえって集中力



上田高校 NOW

学習合宿で長時間、集中的に勉強する1年生

が高まったかもしれません。3日間約24時間という学習時間が計画されており、始まる前の生徒たちの中には「そんなに長い時間、勉強だけをしているのは耐えられない」と考えている人も多かったようです。しかし、帰ってきてから「こんなに長時間、集中して勉強できるのかと最初は不安だったけど、実際に勉強してみても、そんなに集中力が続いたのは初めてで、とても驚いたし、やればできるという自信もついた。勉強が楽しくなった」（アンケートより）というような感想も多く見られ、これらにつながる成果があったように思えます。

最近では、スマートフォンの使用率が高まり、学習時間にも大きな影響を及ぼしています。生徒たちの多くは、問題意識は持ちながらも、状況を変えることがなかなかできずにいました。今回の合宿では、「学習スペースへのスマートフォンや携帯電話の持ち込みはしない」というルールのもと、学習に臨んでもらいま

した。学年一丸となって、「脱スマホ」環境をつくったことは生徒にも良い影響を与えたようです。「家ではスマホという誘惑があり、集中できなかったけど、スマホがないとこんなに集中できるということがわかったので、家でもそうやって頑張ってみようと思う」（アンケートより）というような感想も多く、これからの家庭学習の質・量の変化に期待が持てます。

金剛力士像 30年ぶりに復活

第56回松尾祭 盛大に開催

生徒会最大の行事「第56回松尾祭」が7月上旬盛大に開催されました。今年のテーマ「MATSUO BEAT 君の心を打ち鳴らせ」にちなみ、前夜祭、ダンスコンテスト、昨年から継続してい



今年リニューアルした金剛力士像と3年7組

る被災地支援企画「福島産野菜直売」など心に響く様々な企画がありました。さて例年好評のアンデパンダン展ですが、今年はひときわ目立った作品が登場しました。3年7組製作の金剛力士像です。スケールの大きさと圧倒的な存在感、何とも言えない愛らしい表情。インパクトある作品で上田高校HPも飾りました。

実はこの作品、30年の時を越えてリニューアルしたもので。発端は7組担任の坂口俊夫先生（82期）が高校生だったときのアンパン作品をクラスに見せたのがきっかけ。「先生、こんなすごいの作ったの?」「僕らも同じものに挑戦しよう!」。112期生3年7組の生徒たちが最後の文化祭に向けてクラス

今回の学習合宿が、今後の生徒たちの学習活動への大きな弾みになってくれることを期待しつつ、今後も生徒支援に努めていきます。1年担任 小木曾一希

の団結と坂口先生への恩返しを形にしたかったのかも知れません。同窓生の皆さん、当時は何を作ったか覚えてますか。クラスで合唱曲を歌いましたよね。30年ぶりに復活した金剛力士像は同じ学びや出をよみがえらせてくれました。

また、生徒主体の合唱コンクールですが、3年前から職員合唱も披露しています。今年の合唱曲は森山直太郎作「さくら」。先生たち、ホントに忙しい中でしたが、OBの職員も多くお持ちして、自分たちも高校時代に合唱練習したという頭の隅にあった記憶を思い出し、お昼休みにコツコツと練習を重ねて本番に望みました。練習のかいあって、見事な(?)歌声を響かせることができました。先生たちも舞台上立つことで、文化祭成功に少しは貢献できたかも知れません。

ちなみに今年の合唱コンクールは、わがクラス3年1組の「二十億光年の孤独」が素晴らしい歌声を響かせて優勝しました。

文化祭を終えると、3年生は受験モード突入です。来春の「さくらの開花」まで、今は苦しい時期ですが、「試百難」の志を高く持つて乗り越えてください。

3年担任 小宮山勝人



2年生

沖縄戦の実態を学ぶ

修学旅行、マリンスポーツも

10月14日から17日までの4日間、前後に大きな台風が通過し天候が心配されましたが、1・1・3期生の修学旅行は無事に終えることができました。この旅行の大きな目的は二つ。第1は沖縄戦について学び、平和の大切さ、命の尊さを感じる。第2は長野県にはない沖縄の恵まれた環境の中で仲間とともに目いっぱい楽しみ、絆を深めることでした。

2日目に訪れた平和祈念公園にある資料館では、普段にぎやかな



平和祈念公園で「HEIWAの鐘」を合唱する生徒たち

生徒たちが真剣なまなざしで見つめている姿がありました。

特に、沖縄戦の証言集が置かれている部屋では、長い時間滞在し、一文字ずつじっくりと読み進めていました。その後、ひめゆり平和祈念資料館では、ひめゆり学徒隊として沖縄戦を体験された方から、辛く苦しい戦争の実体を語っていただきました。戦争が終わった今でも、生存者の方、その家族は苦しみを背負って生き続けている様子が伝わってきました。

今の自分がいかに恵まれて幸せなのか、感謝の気持ちとともに家族の顔が浮かび、どんなことがあっても、命を一番大切にしようとして強く感じました。戦争の恐ろしさや辛さ、平和と命の大切さを心に刻みこむことで、今後、どんなに苦しい状況にあっても生活の中にある幸せを感じとり、正しい選択をしていくことができると思います。

2日目の夕方には万座ビーチホテルに到着。台風の影響による強風すらも楽しさに変え、多くの生徒たちが初めて訪れた澄んだ海を

前に、日没時間ギリギリまで遊ぶ姿が見られました。3日目は待望のマリンスポーツ。すごい突風でしたが、予定通りシュノーケリングやバナナボート・カヌーなどをコースごとに楽しむことができました。

午後には「ちゅら海水族館」を見学した後、最後の夜を過ごす「しまんちゅクラブ」に到着しました。外の広場に集まり、用意した学年企画を披露。ダンス班によるダンスでスタートし、生徒会長と修学旅行の団長である加藤先生の2人によるファイヤーストームの点火で会場は一層盛り上がりました。全員でのダンスやステージでの出し物をした後、最後に全員で「HEIWAの鐘」を歌いました。

1・1・3期生は不安定な所もありますが、引っ張ってくれる頼もしい存在がいて、そこに賛同するみんながいる、共に助けあい思いやれるとてもいい学年だと思えます。修学旅行が終わった今、班・生徒会など学校を引っ張る立場であり、3年ゼロ学期と称して自分の進路を真剣に考えていく時であります。いくつも乗り越えなければならぬ厳しい山が訪れますが、必ず乗り越えて成長していつてくれると思います。

2年担任 山岡 翠

3年生

近づくセンター試験

学習室の補習にも緊張感

今年もいよいよ本格的な冬が到来しました。酷暑に苦しめられた夏から解放されたと思つたら、短い秋はあつという間に過ぎ、いよいよ受験シーズンに入ります。

3年生は先日、センター試験の志願票を提出し、現在は本番に向けて緊張感を高めながら、朝な夕なに補習に取り組んでいます。聞くところによると、来春のセンター試験は志願者数が7000人減少とのこと。そんな情報には耳を傾けることなく精進を重ねる生徒の姿を見るにつけ、2年半前の初々しさとは違ったたくましさを感じ



放課後、学習室で勉強する3年生

るのは私だけではないと思います。

3年生はあの忌まわしい東日本大震災が起きた春に本校に入学してきた生徒たちです。生徒の中には震災を自分のことととらえて将来を考えている者もいます。また多くが復興を目指して苦境の中で生活している人々の姿と自分の姿を重ね合わせながら多感な日々を過ごしてきた生徒たちです。そういう意味で苦境に追い込まれても最後まで粘ってやり抜くことができる生徒たちであると思います。

過日、生徒の進路希望動向をみながら全校職員で進路検討会を行い、生徒個々の弱点を克服させるための学習指導の体制を整えました。1人でも多くの生徒が第1希望の進路先に合格できることが全職員の願いです。学年職員はもとより、全校職員でしっかりサポートしていきたくと考えています。

最後に、来春、現3年生が卒業を果たした暁には本校同窓会に新会員としてお仲間に入れさせていたくことになると思いますが、その節はよろしくお願いたします。

3年担任 坂口俊夫



「一流」を目指して

吹奏楽団 東海大会に出場

上田高校吹奏楽班は今年度、2年ぶりの東海大会出場を果たすことができました。その中で生徒は、おのこの課題に向き合いながらも全員で一つの音楽を追求する姿勢を学びました。

約1年前、昨年度の3年生から

3年生を中心に新しい目標に向かって動き始めました。「常に一流たれ」のモットーを掲げて始まった新体制は正直、苦難の連続でした。ミーティングを重ね「どうしたら自分たちは成長していけるか」ということを自身に問い続ける日々だったように思います。しかし、その活動は少しずつですが、班員の心に確固たる信念のようなものをはぐくんできたのです。

4月になり1年生の入班が決まって5月の東信合同音楽会、6月の定期演奏会、7月上旬の松尾祭までの間は「音楽づくり」と並行して「集団づくり」にエネルギーを注いでいた時期です。特に3年生は「1、2年生を前にして自分たちはどうすべきか」ということに心を砕きました。

東北信地区大会の課題曲と自由曲が決まり、ステージメンバーが決まって夏休みに入るころにはコンクール一色。学業との両立を忘れず、ますます内容の濃い活動を続けた

結果、8月3日の東北信地区大会は金賞を獲得し、地区代表に決定。一つ目のハードルをクリアし、強化合宿が始まりました。

4日間の合宿は個人、パート、セクション、全体練習を計画的に組み合わせ、音楽をより高度な次元へ練り上げる作業に没頭できました。東北信・中南信代表校による県大会の演奏レベルはここ何年かの間、飛躍的に上がっており、その中で上位に食い込むことは至難の業です。山岸明先生の指導のもと「なんとしても県大会を突破したい」という思い一つを胸に、集中して練習に励みました。

地区大会から県大会までは1週間。短期間でレベルを上げるのは非常に大変なことですが、この時の変化は今でも鮮明に記憶に残っています。特に県大会前日、最後のホール練習では聴いていて大きな手応えを感じました。

迎えた8月10日の県大会。ここまでやったことを一つ一つ丁寧に振り返るような、密度の濃い演奏ができ、念願の県代表に選ばれました。

夏休み明け、生徒会主催による東海大会壮行会が行われたころ、生徒の疲労はピークに達しました。直前に体調不良を訴え倒れる班員も出ましたが、周りの班

員や保護者の皆さまの手助けのもと、「真面目に頑張りたい」という姿勢を崩さず、8月27日、東海大会の本番を何とか迎えられることができました。これまでやってきたことすべてをかけたステージでした。残念ながら全国大会出場はなりませんでしたが、生徒は納得のいく演奏ができた様子でした。

今、1、2年生は新たな運営体制のもと新しい班活作りをスタートさせ、3年生は来るべきもう一つの本番（進路）に向け、新しい生活をスタートさせていますが、彼らの心には今年度のモットー

「常に一流たれ」の本当の意味が刻まれています。それは本番のみならず、毎日の小さな活動を真剣に取り組み、ひたむきに音楽や自分と向き合う心です。生徒は日々の活動として練習ばかりでなく、活動で使った校内の様々な場所の清掃にも励んでいます。周囲の皆さまへの感謝を忘れず、これから卒業まで、そして卒業後もこの班活で経験したことを生かせる人間に成長してほしいと顧問一同願っております。これからも本校吹奏楽班をよろしく願っています。吹奏楽班副顧問 近藤 玲

2013年度のクラブ成績 全国大会出場状況

▶運動班

- 全国高等学校総合体育大会（2013 未来をつなぐ北部九州総体）
陸上班 女子 800 m 準決勝出場 山崎菜月
- 全国高等学校校定時制通信制体育大会
定時制 卓球女子団体 2回戦
卓球女子シングルス 3回戦 市崎世奈
ソフトテニス女子個人 1回戦 依田秀美・松林美紗

▶文化班

- 第60回NHK杯全国高校放送コンテスト
放送班 「ゆとりにサヨナラを」 ラジオドラマ部門優秀賞
- 第37回全国高等学校総合文化祭 2013 長崎しおかぜ総文祭
放送班 アナウンス部門 山崎香菜子 出場
室内楽班 長野県高等学校選抜オーケストラ選抜メンバーとして
合唱班 東信リーダーズコーラスメンバーとして
- 高校生交通安全CMコンテスト（信越放送）
放送班 テレビ部門 アイデア賞
ラジオ部門 グランプリ（現在SBCにて放送中）

上田高校 NOW





文芸班関東OB会 第1回会合 都内で2014年3月予定

文芸に興味のある幅広い人の参加をお待ちしています

テキスト 58期文芸班・宮原安春著「軽井沢物語」電子書籍

ネットで「講談社電子パブリー軽井沢物語」と検索すればダウンロードできます。630円(税込み)

61期 井出孝光

連絡先: ide0267@nifty.com



新たな教育システムの創造

松実学園グループ

初等部・中等部・高等部

現在の教育システムでは対応困難な児童生徒の為の学園

医科系大学特進コース・松実メディカル高等予備校

医学部進学・難関大学進学の為の特別コース

(社) ISM 教育総合研究所

まつみこうとうがくえん

松実高等学園

本校 埼玉県春日部市中央1-55-15
<http://www.matsumi-gakuen.net>

理事長・学園長 松井 石根 (60期)



安心にまっすぐ。

信州ハムの「グリーンマーク」とは、発色剤・着色料・保存料・リン酸塩を使用しないでつくられた
信州ハムのハム、ソーセージに付けられるシンボルマークです。



今、毎日食べるものに必要なこと。

信州ハム

信州の自然を大切に考え
製品を作り続けています。

信州ハム株式会社

代表取締役社長 中村 幸男(65期)

〒386-8686 上田市下塩尻950
TEL 0268-26-8686



東所沢の不動産仲介専門店

株式会社 アルファー

代表取締役 尾和正暉 (61期)

〒359-0023

埼玉県所沢市東所沢和田 2-3-1

TEL 04-2945-2220

FAX 04-2945-2225

アルファーでは家をお売りする前に
安心をお売りしています。

J R 武蔵野線 東所沢駅 徒歩3分

E-mail info@alphar2220.co.jp

HP <http://www.alphar2220.co.jp>

アクト法律事務所

〒107-0052

東京都港区赤坂3丁目9番18号

赤坂見附 KITAYAMA ビル3階

TEL: 03-5570-5671 (代表)

FAX: 03-5570-5674

【最寄りの交通機関】

地下鉄銀座線・丸の内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士(所長) 岩井 重一 (62期)

弁護士 安田 隆彦

弁護士 平澤 慎一

弁護士 波戸岡 光太

弁護士 黒澤 真志



会員短信

総会への出欠はがきより

43期 佐々木三夫

3月から体調を崩して入院しています。現在は回復途上ですので、いずれごあいさついたします。

43期 土屋 功

両足不自由となり欠席は誠に残念。諸兄によりしく願います。5年間通学した母校校门が懐かしく思い出されます。

43期 土屋 啓

大腿骨折の後遺症で遠出はできませんが、元気で俳句に打ち込んでおります。

46期 中島正夫

足の弱まりで欠席ばかり。まことに申し訳ありません。

47期 三浦嘉治

会報86号拝見、なかなかの充実ぶりに感激しました。多くのイベントの様子、後輩の状況が分かります。校長先生、同窓会会長ら皆さまの母校の期待と思いやり、また最近の動き、様々変わってきていますね。お願いですが、(中山道日記完結、さすがですね)中山道の案内書を欲しいのですが、発行店ご教示を。

48期 相田 俊一

その節は同窓会ゴルフで大変お世話になりました。このごろは当時の元気がなくなりました。上原昇様によりしくお伝えください。会報が大変充実していました。

48期 竹内恵三

体調もうひとつ戻らず、出歩けません。

48期 堀内 惇

今までは「65歳定年」が人生でした。しかし日本の人口は少子高齢化の中で急ピッチで減少しています。そこで長寿県長野出身として、今後は「人生90年」を目指して少しでも社会に役立つ年月を健康に送りたいと願っています。

49期 堀内寅次

82歳となりますが、元気でやっております。同窓会の開催にご尽力いただき、大変うれしく思っております。足が弱り、出かけることが少なくなりました。

49期 松岡秀夫

6月9日〜10日の日程で南小学校の同期卒業(昭和20年3月)生の集まりが上田であるので、出席するつもりです。

50期 金井 忠男

先週は足立区に住んでいたところの近所の人たちと関西方面へ旅行に行ってきました。有馬、六甲、神戸北野など見学し、楽しい2日間でした。「旅は人生再発見のチャンス」とか、

訃報

心よりお悔やみ申し上げます。

39期	渋沢 芳三	2013.3.15	50期	黒坂 重保	2013.9.6	61期	吉澤 善男	2013.8.14
40期	鈴木 一郎	2012	52期	橋爪今朝男	2012.12.19	61期	清水 克彦	2003.8.19
40期	永井 秀甫	2005.5	56期	濱村 邦夫	2013.3.14	61期	好沢 恒夫	2010.4
43期	小林 勇	2000.2.18	57期	金沢 昭義	2013.3.29	61期	山崎 匡毅	2004.1
44-5期	清水 正司	2011.10.14	57期	清水 義央	2012.6.28	64期	宮原 泰嗣	2013.11.17
47期	丸山 栄一	2013.3.2	57期	藤岡 擴	2012.8.25	65期	柳沢 敏明	2013.8.10
48期	山崎 延秋	2013.5.12	58期	滝澤 一彦	2013.4.24	72期	小山 昇治	2013.3
48期	高柳 直樹	2013.1.6	58期	倉島今朝徳	2013.7.3			
50期	馬場 進吉	2012.7.12	60期	橋詰武敏	2013.1			

当会相談役

山崎延秋さんを偲んで

歳は八つも離れていても同郷とはありがたいものです。旧塩尻村出身同士、親の代からのお付き合い。私が40代になって間もなく江戸小唄の会に誘われ、女性が率いる粋な世界に飛び込んで、いつの間にかその会の会長までさせられたのは山崎さんの計略にまんまとはまったからでした。

常にソフトな話術で女性を引きつけている様は、不器用な小生には小唄の稽古より難しいことでした。同窓会関係でもご尽力され、華やかに楽しく幕を閉じられた先輩に合掌。
馬場武彦(54期)

関東同窓会、松尾倶楽部の発展に大きな足跡を残された山崎先輩が不帰の客となられ、この世の無常を嘆ずるのみで、誠に痛惜の念でいっぱいです。

山崎先輩が関東同窓会の会長時代、執行部の一員(副幹事長)として大変かわいがっていただきました。山崎先輩のお心の優しさ、人間味あふれるお人柄、そして他者のために心を労し思いやる愛情に身近に触れさせていただき、一期一会の大切さを教えていただきました。

また、個人的にも山崎先輩が役員をされておられた会社の顧問弁護士にご推挙いただき、公私ともにお世話になりました。山崎先輩のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。合掌
岩井重一(62期)



たのしい旅行でした。

50期 渡辺洋一

会報が充実して読み応えが出てきました。また現役です。

51期 有賀秀雄

当日は妻の入所している施設の「ふれあい祭り」に参加するため、残念ですが欠席させていただきます。同窓会の年会費2017年度分まで納入済みのため、今年

は寄付の振込みをしたいと思っています。現在は妻の介護が中心ですが、後期高齢者の年齢になってから体調不良でしたが、ようやく復調。家庭菜園と月1回の男性料理、月3回のカラオケを楽しんでおります。

51期 池田義雄

著書のご紹介ありがとうございます。おかげさまで「食べて健康・タニタ式カラダのひみつ」(三笠書房)、「タニタのDr.がすすめるスローカロリーレシピ」(PHP研究所)、「血糖値が上がらないレシピ」(アスペクト)とも好評です。肥満、糖尿病を含め生活習慣病予防にご活用願います。

51期 上原隆雄

菅谷松本市長の講話が楽しみです。同期を誘って参加します。

51期 龍野勇介

今、入院中なので出席できません。かつて二水会で菅谷先生の講演を聞きました。今は残念ながら会場に行けません。

51期 中島 宏

同期同窓の友人知人とお会いできるのが楽しみです。先輩の出席が少ないのが残念です。

51期 保坂利勝

上田の義姉の見舞い、そして葬儀。帰ったら隣組の不幸が2つあり、頼まれて手伝ったら体調が悪くなり、同窓会に行けず残念です。演奏も楽しみにしていました。ネパールの宮原さんにも再会したかった。

51期 村田 寛

51期は今年で卒業60年となり、10月には記念の同期会を計画しています。

51期 八木浩輔

私の祖父の祖父、八木剛介(1801-1871)は、佐久間象山の弟子であり、上田藩の学問所教授、西洋流砲術の師として活躍したことが、歴史書「上田藩の人物と文化」(上田市立博物館、1986)に詳しい。そして同書に上田藩の後輩赤松小三郎との親交が載っている。特に、小三郎の京都での不幸な死を悼み、実兄芦田柔太郎に送った切々たる想いの悔み状(1867)全文の写真が載っている。達筆である。

52期 関 正利

Eメールによる母校関連の情報をありがたく拝見しています。

53期 小林乾泰

当日は大学時代所属の運動部(ボート部)の伝統の対抗戦があり、小生も2008年までは70歳OBの仲間練習・レースに参加しておりました。体調不調となり、漕ぐのはドクターストップですが、応援に参ります。

53期 須田武久

幹事長としての初めての大会運営、ご苦

労さまで。前にも申し上げた通り、懇親会での実行委員長のあいさつは「開会宣言」だけにとどめるようご指導ください。学校長の「報告」をたっぷり聞きたく思います。

53期 塚田 靖

中澤きみ子さま、お元気ですか。打楽器の塚田靖です。尚美音大時代にはお世話になりました。

53期 服部聡一郎

菅谷さん、西入さん、楽しみにしています。柳澤君の山、堀内さんのハヤブサ、大変おもしろかった。丸山先輩の赤松小三郎などの話、宇崎竜童をアンコールします。6月13日付東信ジャーナルに幸村が秀頼を連れて鹿児島まで逃れ、秀頼の死後、秋田・大館市まで行き、寛永18年に、ここで他界した話が出ていました。

54期 沓掛文哉

松本市民はつくづく人間の器が大きいと思う。今総会の講師の菅谷昭松本市長(60期)のことである。氏が地元信大医学部卒とはいえ、上田高校卒業生が3期にわたって松本市長に選ばれたのは稀有なことではなからうか。もちろん、氏の実績が評価されたからであることは間違いないが、地元松本深志高校出身の俊才も数多いはずである。例えば上田市長について同じことが考えられるだろう。同期、菅谷晴彦君の弟君である昭市長に声援を送るとも

寄付者 / 寄付グループ

(4月1日~11月14日)

* 86号に掲載すべき52期の土屋義子さんの年会費(2013年度まで納付済)年限が記載漏れになっていました。本文にて掲載させて戴きます。

期	氏名	金額	期	氏名	金額	期	氏名	金額	期	氏名	金額
37	小山敏雄	2,000	52	山崎達夫	2,000	65	宮原 豊	1,000	69	倉沢 裕	2,000
38	小林直樹	10,000	60	日置勇二	50,000	65	半田俊治	1,000	71	赤木千江子	4,000
43	保利大治	2,000	60	白井 透	4,000	66	清水通男	30,000	71	掛川正一	2,000
44-5	田中悦次	10,000	61	滝澤 進	80,000	66	笹澤和平	4,000	71	和久津智恵子	2,000
44-4	中村 司	10,000	61	笹井徳爾	2,000	66	茂木俊郎	4,000	71	小牧秀子	1,000
44-4	滝沢源平	2,000	61	荻原隆治	2,000	66	田口 博	2,000	76	小島 玲	2,000
46	清水巻郎	2,000	61	堀内寿美	6,000	66	竹内 進	2,000	78	渡邊 博	4,000
47	柄澤和彦	10,000	62	松井由美	2,000	66	荒井和夫	4,000	80	會田信子	4,000
48	宮澤武夫	10,000	62	片山隆行	1,000	66	清水 理	2,000	81	毛利元晶	6,000
49	堀内寅次	6,000	63	山本寿美子	1,000	66	清水正幸	2,000	81	山本 寛	2,000
49	永井俊夫	1,000	63	藤川 昇	2,000	66	大倉洋一	1,000	104	檀山政則	1,000
50	馬場進吉	5,000	64	村居次雄	2,000	66	米山みず江	2,000		松尾倶楽部	12,000
51	有賀秀雄	5,000	65	上原 昇	9,000	66	清野勝芳	2,000		ゴルフ同好会	24,000
51	中島 宏	3,000	65	丸山暢久	7,000	68	清水洋一	10,000		合計	381,000

に、氏を3期にわたって選んだ松本市民にも敬意を表する次第である。

54期 後藤人三

腰痛と闘いながらゴルフと囲碁に毎日過ごしています。

54期 田村 朗

54期の仲間3人と浅間山前掛山に登ってきました(6月5日)。ラウンド数は減っていますが、ゴルフは続いています。油絵挑戦中(腕上がらず)。

55期 樋口宣明

少々難聴と足腰が弱っています。が健康です。ただ愛犬「ニコラ」(アイリッシュ・セッター)が昨年12月にがんの手術をして、今年の4月までは元気ででしたが、5月から食事を食べなくなり、病院で1日おきに点滴と注射をもらっています。

54期 藤村 延魚

ライフワークとしての「全日本寮歌祭」に取り組んで3年になり、今2000人規模で1000年先まで継承する基盤が確立しました。現代の万葉集と云われる、美しき寮歌を歌いにおいでください。8月10日(土) 11時~15時半、京王プラザホテル。ふんにおいでください。

56期 小平節夫

自分は元気で、あと4~5年は

講師として、ボランティアとして活動するつもりでしたが、ここに来て急に家内の健康が悪化して、できる限り外出を控えるようにしております。

56期 村山 剛

特に変わりなく平々凡々と毎日過ごしています。会報86号と同じクラスだった成田邦夫君の赤松小三郎についての一文を読み、元気に頑張っているなど勇気づけられました。

58期 宮島武源

経年劣化する体調をだましましたしながら「今」を頑張っています。

58期 山邊光一

会のウェブには各期の代表幹事・幹事の名前が掲載されています。一方、会報86号には年会費納入者一覧が掲載されています。年会費も納めていない人が代表幹事・幹事になっているケースがあります。会費を納めるか、幹事を降りるかすべきと思いますが。

60期 小関夏子

同級生菅谷さんのお話を伺うのを楽しみに参加します。

60期 小松有也

にぎやかな所が段々苦手になってきましたが、菅谷君の講演だけでも出席したいと思えます。

60期 松井石根

同期の菅谷君の講演を楽しみに

69期の小川亮夫です。



平成25年4月に(株)TOSYS(本社 長野市)の代表取締役社長に就任いたしました。

地域に密着した情報通信エンジニアリングの総合会社として貢献してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

して総会に出席いたします。

60期 矢嶋邦彦

地元のマンドリンクラブでギターを弾いています。3年ぶりに「ミューザ川崎」で定期演奏会ができました。1500人が集まり、大好評でした。コース、スポーツクラブでもがんばっています。

61期 大澤義隆

空梅雨のもと、家庭菜園の作物たちが雨の恵みを欲しがっております。元気に過ごしております。

61期 笠井徳爾

会報が充実しており読みができます。一方、ホームページは器

祝！会報87号



- ・関東同窓会で12年の歴史ある同好会
- ・毎年、春と秋にゴルフコンペ開催(12組)
- ・次回(第21回)は本年4月7日(月)、船橋CC
- ・幹事が変わりました

【代表】ゴルフ同好会幹事 古畑克巳(69期)

TEL 090-6042-0566 jlc3685@b8.mnx.ne.jp

【幹事】磯貝隼人(69期) 荒木久文(69期) 近藤正昭(69期)

六五会より 祝！会報87号

- ◆六五会は65期有志よりなる親睦会です
- ◆毎月21日19時から、上田市内の飲食店にて開催

【メンバー】青松英和、上野政博、小山田秀士、小出俊、興水章比古、小山壽一、島田甲子雄、中村幸男、羽田義久、丸山幸雄、安川莊太郎、矢島好高、柳澤英明、吉田一雄、若林健

代表幹事：布施修一郎 TEL 090-1663-6363

身近にあるパチンコ店、パチスロ店の全国組織です
全日本遊技事業協同組合連合会 (全日遊連)

理事長 青松 英和 (65期)

(事務局) 〒162-0846 新宿区市ヶ谷左内町8番地
Tel 03-3260-7371 (代表)
Fax 03-3260-7377
http://www.zennichiuren.or.jp/

eclat 税理士法人 エクラコンサルティング
株式会社 エクラコンサルティング

資産税プロ集団 お客様の事業承継を成功へ導く

代表社員 税理士 田中 誠 (72期)

〒150-0013 渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル3階
TEL: 03-5447-6277 FAX: 03-5447-6278
http://www.eclat-c.com/



稿が活発になるよう期待します。

62期 松井由美

松尾クラブでお手伝いをしてい
ます。大変良い内容の会です。皆
さまの参加をお待ちしています。
若い方々に特に聞いていただきた
いと思います。

62期 依田欣五郎

ちょうど、同期とセントアンド
ルーズ(ゴルフの聖地)に挑戦中
です。丸さんにまた報告いたしま
す。

63期 飯塚一雄

松戸に持っている合唱団のステ
ージがあり、残念ながら出席でき
ません。サンデー毎日を埋めるべ
く、いま3つの合唱団に参加して
いますが、週の30%しか埋まって
いません。ゴルフでも再開しよう
かなと迷っています。

63期 矢島正晴

週3日の名古屋と家庭菜園十バ
ラライカで元気にやっています。

64期 中西載慶

3月に東京農大を定年退職しま
したが、現在名誉教授として引き
続き講義を担当しています。その
ほか講演や月刊誌の連載執筆など
で相変わらずバタバタ・セカセカ
日を過ごしています。

64期 宮坂 信之

3月末で東京医科歯科大学を定
年退職しました。

65期 小池 通崇

福井大学で教授をしています
(原子力)。東電福島の不祥事にも
かわからず、私の授業にはいつも
多くの学生が受講を希望していま
す(1科目当たり200〜300
人)。原子力は危険な面があるの
で、当面は原子力に頼つても、将
来的にはクリーンな新しい効率的
なエネルギーを発明すべきである
と、学生に教育しています。

65期 田中由紀子

先月、完全リタイアしたはずで
すが、手ぐすねを引かれてしまい、
週の半分、少々働いています。こ
れがまた、退屈とは無縁で。

65期 山浦陽士

今年3月で、再任用勤務も含め、
46年間の公務員生活を終了させ、
サンデー毎日の年金生活者となり
ました。5月には65期の同期メン
バーによる退職慰労会も開催して
いただき、人生の大きな節目を実
感しているところです。

66期 市川正雄

第86号の会報が本はがきとも
に送られてきたので、読ませても
らいました。同窓生や在校生が頑
張って活躍されているのは実は伝
統だったのだなあと思いやられ、
自分の力不足をさらに感じさせら
れました。励ましてもらったので、
さらに残りの人生を頑張りたいで

す。

66期 黒坂正文

当日はコンサートが入っており
出席できません。仕事柄なかなか
日常的に協力することができませ
ん。私にできることがあれば、お
つしゃってください。

66期 清水正憲

サラリーマン生活を卒業して、
もう1年になります。化学会社の
コンサルタントと薬剤師のパー
ト、テニス・ゴルフと忙しく過ご
しています。月に1〜2回、佐久
のリンゴ園の手伝いに行きたいの
ですが、なかなか時間がくれま
せん。

66期 竹内豊和

昨年12月故郷に転居しました。
のんびりやっています。

69期 清水龍夫

3月31日に中学校教員を定年退
職し、現在、再任用で週3日、初
任者指導教員として勤務していま
す。

76期 宮川 正

清水さん(66期)から連絡いた
だき、実行委員の1人としてやら
せていただきます。

79期 荻原 貴

縁あって軟庭班の先輩から「真
田太平記DVD・BOX全12巻」
をお借りして、現在第8巻まで見
ました。あらためて豪華キャスト

に驚いています。また、文庫本
全12巻をアマゾンで取り寄せ
て、再読を始めています。

79期 六川明子

いつも会報、楽しく懐かしい
思いで拝読しております。同窓
会にはまだ出席していないので
すが、いつかはと願っております。

81期 毛利元晶

自分たちが3年の時に教わっ
ていた草間監督が高野連より長
野県代表で表彰され、うれしく
誇らしく思います。

82期 箕輪博康

韓国駐在中。

86期 関 良基

会報86号に松平忠固について
寄稿させていただきました。初
めて総会に出席させていただきました。
何か手伝えることがあり
ましたらご連絡ください。

代表幹事の交代

63期代表幹事の関田正幸氏が
退き、大塚和弘氏が就任します。

訂正

会報第86号の「上田人 人事の
プロ・四方ゆかりさん」の記事中
に「三中時代には生徒会長を務め
」とあるのは「小学校では児童会長
を務め」の誤りでした。

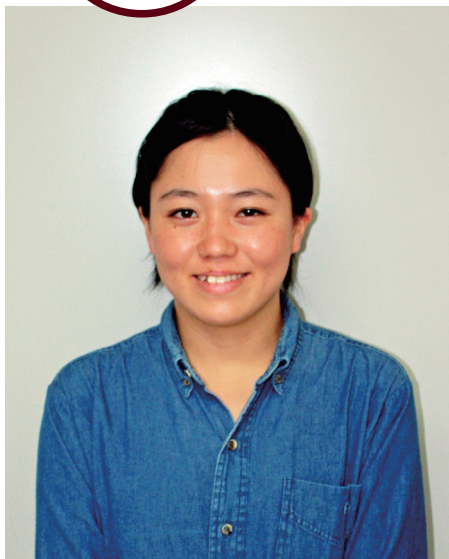
編集後記

この1年を振り返って
国民が最も喜んだニュー
スは、2020年東京五
輪の開催だろう。国際オ
リンピック委員会(IOC
C)のロゲ会長が五輪マー

クの入ったボードを裏返して「ト
キヨ」と発表した瞬間、日本中は歓
喜に包まれた。▼前回の東京五輪は
1964年。当時私は大学に入学し
たばかりだった。世界のトップアス
リートの競演を見たかったが、3畳
1間のアパートにはテレビなどな
い。大会の様子を詳しく知ったのは、
市川崑監督の映画「東京オリンピック
」を見てからだ。▼9月のIOC
総会後に会長を退任したロゲ氏はあ
のシーン以来、日本で「躍」「有名人
」になった。彼に会ったことはないが、
電話で話したことはある。1999
年にソルトレークシティー冬季五輪
の招致に絡んで13人のIOC委員に
収賄疑惑が発覚。東京五輪柔道金メ
ダリストのヘーシンク氏もその1人
だった。▼当時、共同通信ブリュッ
セル支局にいた私は、調査委員だっ
たベルギー人のロゲ理事の自宅に電
話してヘーシンク氏の疑惑を取材。
ぶしつけな質問にも丁寧に答えてく
れたのを覚えている。その時は、ま
さか彼がIOC会長になるとは夢に
も思わなかった。 真山隆夫



「くじらのまち」の監督 鶴岡慧子さん (105期)



高校生のほたるは朝彦に告白するが、朝彦は沈黙。朝彦は同じクラスのまちに魅力を感じている。高校生最後の夏休み、そんな微妙な関係の仲良し3人組が、6年前に失踪したまちの兄を探しに東京へ小旅行する…。

同窓生の大学院生、鶴岡慧子さん(25)が監督した映画「くじらのまち」は、渴望や喪失など、複雑な感情と初めて向き合う若者たちの揺れ動く心の風景をみずみずしく描き出した青春群像劇。2012年の第34回びあフィルムフェスティバルで、522のエントリー作品の中から、最高賞のグランプリに輝いた。

「実はその前に、映画を作っている大学の卒業制作作品が集まる「そつせい祭」(日本映画テレビ技術協会主催)に出品したんですが、こてんぱんに言われました。自信は全くなかったんで、グランプリ

りに決まった時は本当にびっくりしました」

出身地は菅平高原。中学時代は、冬はスキー部でクロスカントリー、夏は陸上部で砲丸投げに熱中。「運動系の部活しかなかったんです。走るのが嫌だったので、砲丸投げを選びました」と笑う。

子どものころから映画好きだった。母が買ってくれた映画雑誌を読んだり、ビデオ映画を鑑賞したり。特にスピルバーグ監督の「ジュラシック・パーク」や周防正行監督の「シコふんじゃった。」は何度も繰り返し見たという。

3人姉妹の真ん中で、母、姉、妹もみんな上田高校を卒業した。高校時代は演劇班と美術班に所属。2年生の時、自分で脚本を書いた「ベイビー★サマーホーム」を県の高校演劇大会に出品したが、優秀賞(3位)にとどまり、関東大会出場(2位まで)の夢は断たれた。

このころから映画制作を志し、新設されたばかりの立教大学現代心理学部映像身体学科に入学。ここで映画監督の万田邦敏教授の下で、映画制作の実践と理論を学んだ後、卒業制作として仲間11人で撮ったのが「くじらのまち」だった。

「仲間と一緒に脚本を書き、監督と編集を務めました。主人公たちの高校は新座市の立教高校で撮影、田舎の風景とし

て、別所線や塩田の祖母の家、菅平の実家のあぜ道などでロケをしました」



©鶴岡慧子

ベルリン国際映画祭であいさつする鶴岡慧子さん

て、別所線や塩田の祖母の家、菅平の実家のあぜ道などでロケをしました」

グランプリ受賞後、この映画は評判となり、東京国際映画祭で上演されたほか、ベルリン国際映画祭、釜山国際映画祭など、各国の映画祭に正式出品され、大きな反響を呼ぶ。5月12日には上田映劇で上映会が開かれ、通路にイスを並べるほどの超満員となった。

当同窓会でも2014年4月に「くじらのまち」の上映会を計画している。「大先輩はもちろん、若い世代の人たちにも、ぜひ見てもらいたいですね。同期生にはしばらく会っていないので、これを機に私が何をしているか、知っていただけたらうれしい」と語る。

鶴岡さんは今、東京芸術大学大学院映像研究学科の2年生。「将来は商業映画の監督になり、いろんな挑戦をしたい」という彼女の頭には、もう次の映画の構想が浮かんでいる。

「くじらのまち」上映会を開催 2014年4月6日(日)

関東同窓会は鶴岡慧子さん監督の「くじらのまち」の上映会を開催します。

日時：2014年4月6日(日) 午後1時

会場：東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館喜山倶楽部

参加費(運営協力費)：500円

▶問い合わせ先 上原昇(65期) TEL&FAX：048-641-7749

E-mail：n-uehara0816@spa.nifty.com

詳細は関東同窓会のホームページ(<http://uedakant.sakura.ne.jp>)に掲載しますので、ご確認ください。



「くじらのまち」